

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎がさらに急増中です

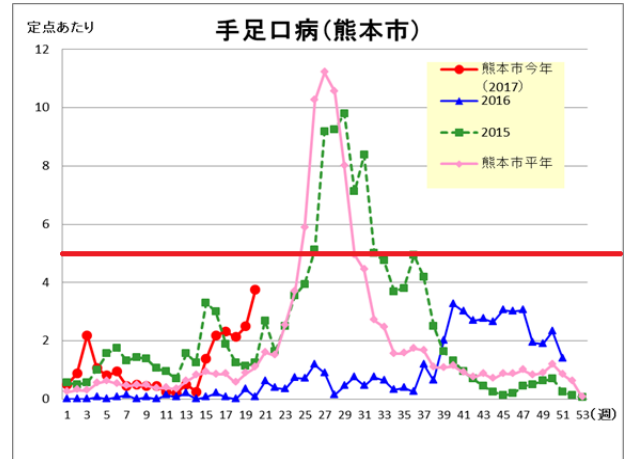
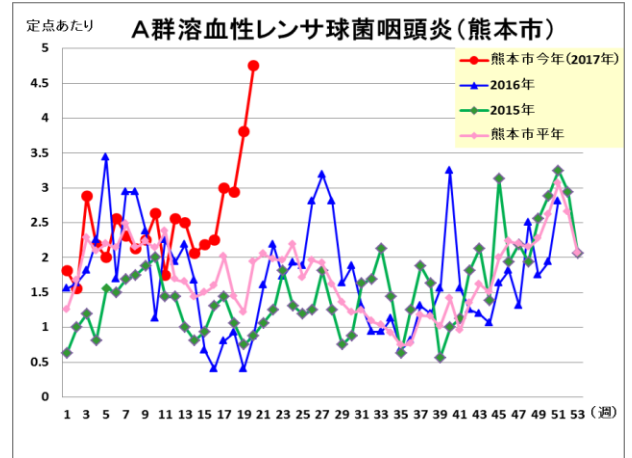
症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。  
 手洗い、うがいもしっかりおこない、引続き注意しましょう。

(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベルは定点あたり8)

## ●手足口病が増加傾向にあります

(九州各県で警報レベル(定点あたり5)を超えています。)

手足口病はコクサッキーウイルスをはじめとする、  
 エンテロウイルスの感染によって、口の中や、  
 手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。  
 発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。



赤線が警報レベル(定点あたり5)

### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上の高熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
- ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

### ◆予防法は？

・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染しているこどものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。

期 間		平成29年 第19週		平成29年 20週	
		5/8～5/14		5/15～5/21(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	23	0.92	23	0.92
RSウイルス感染症	➡	1	0.06	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	5	0.31	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	➡	61	3.81	76	4.75
感染性胃腸炎	➡	70	4.38	74	4.63
水痘(みずぼうそう)	➡	5	0.31	2	0.13
手足口病 ⚠	➡	40	2.50	60	3.75
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	1	0.06
突発性発しん	➡	14	0.88	15	0.94
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	7	0.44	5	0.31
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	9	1.80	10	2.00
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	3	0.60
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	4	0.80	3	0.60